

委託事業実施内容報告書

平成20年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日系人等を活用した日本語教室の設置運営】

受託団体名 楽しい読み書きの日本語教室

1 事業の趣旨・目的

地域に定住している日系人や中国帰国者、外国人定住者等を対象に身近なテーマ（日本の文化・習慣や地域の生活情報等）を通じて苦手な読み書きを含めた総合的な日本語力を高め、同時に相互理解を深めることを目的とする。また日系人を活用することにより、母語を交えた先駆的な指導方法を日本人講師と協働で作り上げ、地域に根ざした教室運営が出来ることも目的とする。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
11月4日 (火)	志田早苗、松田節子 平山千恵子、千葉智義、松田孝子、高橋恵美子、櫻井ひろ子	①「楽しい読み書きの日本語教室」の事業概要について ②同事業計画・予算について ③「楽しい読み書きの日本語教室」の実施について	文化庁に申請した同事業の結果等の経緯について、事務局から説明。事業計画・予算が承認された。「楽しい読み書きの日本語教室」の実施について、学習者等確認をした。
3月17日 (火)	志田早苗、松田節子 平山千恵子、千葉智義、松田孝子、高橋恵美子、櫻井ひろ子	①「楽しい読み書きの日本語教室」の事業について ②同事業の収支状況について ③「楽しい読み書きの日本語教室」の反省と今後について	事業の実施状況と収支報告を行った。今後の同事業について、継続して実施していくことになった。

3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 楽しい読み書きの日本語教室
- ② 開催場所 神奈川県大和市保健福祉センター、コミュニティセンター鶴間会館

- ③ 学習目標 日常生活に関する様々なテーマに対する理解を深め、日本人と学習者双方向の話し合いを通して、学習者の文字情報の読み取りの力と、言語の文章化の力を高める。
- ④ 使用した教材・リソース 楽しい読み書き、学校からの御知らせや問診票、その他教室で作成した資料
- ⑤ 受講者の募集方法 ちらしや「広報やまと」、当協会ホームページに掲載した。
- ⑥ 受講者の総数 20 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- ⑦ 開催時間数(回数) 2 時間 (全 30 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
①	11月4日 (火) 10:00-12:00	2時間	12人	ペルー・スペイン語(6人) ベトナム語(2人) 中国語(2人) 台湾(1人) カンボジア語(1人)	教授者4人 補助者2人	地震－参加者全員で最近の地震、自国での地震状況について話し合い、マニュアルを読み感想を書く。
②	11月6日 (木) 10:00-12:00	〃	12人	〃	〃	地域の情報－自治会発行の回覧板、広報、フリーペーパー
③	11月11日 (火) 10:00-12:00	〃	12人	〃	〃	商品情報－化粧品、石鹸、シャンプー等、どのような情報をもとに購入しているか、製品の効能書きについて
④	11月14日 (木) 10:00-12:00	2時間	12人	ペルー・スペイン語(6人) ベトナム語(2人)	教授者4人 補助者2人	冠婚葬祭－結婚式・お葬式への参列、結婚

				中国語 (2人) 台湾 (1人) カンボジア語 (1人)		式・披露宴の招待状・喪中欠礼、ハガキの書き方
⑤	11月18日 (火) 10:00-12:00	〃	12人	〃	〃	伝言・メモー簡単なメッセージの伝達～家族の間で、職場で(電話の伝言も含む)、場面ごとの伝言・メモの書き方
⑥	11月20日 (木) 10:00-12:00	2時間	13人	ペルー・スペイン語 (6人) ベトナム語 (2人) 中国語 (3人) 台湾 (1人) カンボジア語 (1人)	教授者4人 補助者2人	話してみたことを書いてみる①「私の町」
⑦	11月25日 (火) 10:00-12:00	〃	〃	〃	〃	話してみたことを書いてみる② 「得意な料理」
⑧	11月27日 (木) 10:00-12:00	〃	〃	〃	〃	話してみたことを書いてみる③「おすすめ情報」
⑨	12月2日 (火) 10:00-12:00	〃	〃	〃	〃	緊急時の行動マニュアルー 火事、救急車を呼ぶ
⑩	12月4日 (木) 10:00-12:00	〃	〃	〃	〃	学校からのお知らせ①ー届 け出について、 読んで書く
⑪	12月9日 (火)	2時間	13人	ペルー・スペイン語 (6人)	教授者4人 補助者2人	学校からのお知らせ②ー

	10:00-12:00			ベトナム語 (2人) 中国語 (2人) 台湾1人 カンボジア語1人		年間行事表を 読む
⑫	12月11日 (木) 10:00-12:00	〃	13人	〃	〃	自分のことや 考えを書ける ように①- サンプルの読 み
⑬	12月16日 (火) 10:00-12:00	2時間	13人	ペルー・スペイン語 (6人) ベトナム語 (2人) 中国語 (2人) 台湾1人 カンボジア語1人	教授者4人 補助者2人	自分のことや 考えを書ける ように ②-書き
⑭	12月18日 (木) 10:00-12:00	〃	〃	ペルー・スペイン語 (6人) ベトナム語 (1人) 中国語 (2人) 台湾1人	教授者4人 補助者2人	感想や意見を 書く
⑮	1月13日 (火) 10:00-12:00	〃	10人	ペルー・スペイン語 (6人) ベトナム語 (1人) 中国語 (2人) 台湾1人	〃	街中の標識や 注意書きを探 してみよう
⑯	1月15日 (木) 10:00-12:00	〃	〃	〃	〃	地域社会での ルール: ゴミの 分別など
⑰	1月20日 (火) 10:00-12:00	〃	〃	〃	〃	エコについて: リサイクル
⑱	1月22日 (木) 10:00-12:00	2時間	10人	ペルー・スペイン語 (6人) ベトナム語 (2人)	教授者4人 補助者2人	時間の概念・ 感覚について

				中国語（2人） 台湾1人 カンボジア語1人		
⑱	1月27日 （火） 10:00-12:00	”	”	”	”	社会生活情報 一年金①
⑳	1月29日 （木） 10:00-12:00	”	”	”	”	社会生活情報 一年金②
21	2月3日（火） 10:00-12:00	”	”	”	”	市役所への届 け出について どんなものが あるか
22	2月5日（木） 10:00-12:00	2時間	10人	ペルー・スペイン語 （6人） ベトナム語（1人） 中国語（2人） 台湾1人	教授者4人 補助者2人	市役所で必要 な読み書き
23	2月10日 （火） 10:00-12:00	”	”	”	”	病院で必要な 読み書き－ 問診表
24	2月12日 （木） 10:00-12:00	”	”	”	”	薬の情報を読 む－「使用上の 注意（してはい けないこと）」 「用法・用量」 「効能」で書か れている文章 を取り上げる。
25	2月17日 （火） 10:00-12:00	”	”	”	教授者4人 補助者2人	商品情報：「賞 味期限」「保存 方法」「開栓後 の取り扱い」及 び「注意書き」 の文章を取り 上げる

26	2月24日 (火) 10:00-12:00	2時間	10人	ペルー・スペイン語 (6人) ベトナム語(1人) 中国語(2人) 台湾1人	教授者4人 補助者2人	資源回収のルールについて
27	3月3日(火) 10:00-12:00	"	"	"	"	仕事・就職:履歴書を書く、面接の時
28	3月10日 (火) 10:00-12:00	"	"	"	"	お葬式:自治会で回覧する「訃報のお知らせ」を読む。
29	3月17日 (火) 10:00-12:00	"	"	"	"	アンケートを読んで書く
30	3月24日 (火) 10:00-12:00	2時間	10人	ペルー・スペイン語 (6人) ベトナム語(1人) 中国語(2人) 台湾1人	教授者4人 補助者2人	お礼状

⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)

12月9日(火) 学校からの御知らせ②一年間行事予定表を読む。

目標:学校の年間行事予定表を読んで、理解する。

読むもの:年間行事予定表、料理講習会のちらし

- ・ 自己紹介
- ・ 導入- 在学中の子どもの有無などについて、質問・話し合い。
- ・ 年間行事予定表-イラストを中心に読みと内容確認。(資料にルビをつけなかったが、別に読み方の一覧表を用意。)
- ・ 料理講習会
 - ① 一文ずつ読み、不明な点はないか確認。
 - ② 内容理解のための質問。
 - ③ 申込書記入。(料理講習会の写真を用意。)
- ・ 全体についての質問

3月24日(火) お礼状

目標:お礼の手紙を書く。(季節の挨拶や結びの言葉を使って)

読むもの:手紙のサンプル(資料として「手紙で使うことば」)

- ・ 手紙の実物(封書、年賀状、暑中見舞い)を見せながら、お礼の手紙をもらったことがあるか聞く。
- ・ サンプルの例文3つ読む。(友人、目上の人、相談にのってくれた友人に対して)
例文4を見せながら、手紙文の構成を説明する。
今の季節にふさわしいあいさつ文をみんなで考える。
- ・ 実際に書いてみる。それぞれ便箋に書く。
- ・ 各自読んでもらう。

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
比嘉 徹雄	スペイン語 (ペルー)	5年	30回	授業補助, 通訳
金城ボクセイ	〃	6年	30回	〃

⑪ 支援者の名簿(⑦以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
広瀬 万里子	TIJ東京日本語研修所所属	日本語教育能力検定試験合格	2回	アドバイザー
袴田 よう子	〃	〃	〃	〃
櫻井 ひろ子	かながわ難民定住援助協会	〃	4回	事務局
與座 徳子	〃		2回	〃

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

日常生活にすぐに役に立つテーマを選び、会話と聞く力、読み書きと4技能をバランスよく取り入れたカリキュラムを作成し、実施できた。

② 学習者の習得状況

定住年数は長いが日本語が体系的に勉強できていないために、当初は会話・読み書き共、意味が正しく通じるようには出来なかったが、日本で定住するために必要な情報を得ながら段々日本語が整理されてきた。

③日本語教室設置運営の効果, 成果

平成 19 年度に委嘱を受けた「生活者としての外国人」のための日本語事業《ボランティアを対象とした実践的研修》の講座を受けた人達を中心となって今までにはない形での日本語室を開催して、定住外国人のニーズにあった内容となった。また日本人側も日本語ボランティアの見学者が来るようになり、それぞれの活動に大きな刺激や影響があった。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

活動拠点にしているやまとボランティアセンターに学習希望者が来るようになったので、ちらしを置いてもらうなどお互いに連携を取るようになった。

⑤ 改善点, 今後の課題について (具体的に記述する。)

- a. 現状：日本人側は他の日本語教室に所属しながら並行して関わっている人がほとんどなので、参加出来るメンバーに変動があった。また役割分担のバランスがうまくとれないこともあった。
- b. 今後の課題：今後は、生活に役立つ情報を、どういう形で教材化していくか、また、日本語力に差がある学習者にどう対応していくか、ということを検討していく必要がある。その他に活動場所がとりにくい。
- b. 今後の活動予定, 展望：来年度も引き続き、教室を開催していく予定である。

③その他参考資料